



横浜市立一本松小学校

# 学校だより

12月号

令和4年11月30日  
横浜市立一本松小学校  
校長 高桑 透

## 体験活動を通して

校長 高桑 透

朝夕の冷え込みもすっかり冬の様相となりました。今年もあっという間に師走を迎えます。あわただしい日々の中でも、今年はいくさんの校外学習が実施されています。教室での学習はもちろん大切ですが、外に出ることで得ることもたくさんあります。ここ数年実施していなかった学習ができるようになったことは、大きな前進となっています。

11月は、4年生のバレエ観劇、5年生の足柄体験学習、3年生の神奈川県警察見学と、立て続けに3つの校外学習の引率をしました。学校では教科学習はもちろん大切ですが、社会に出たときに身に付けていなければならないことについても学びます。大きなホールでのバレエ鑑賞のマナーや集団での道路の歩き方、博物館などの見学の仕方、宿泊施設での風呂の入り方、レストランでの食事のマナー、エレベーターやエスカレーターの乗り方など、実生活でも必要とされることを一つずつ学習していきます。教室で黒板やタブレットを使っての説明だけでなく、実際に体験することで身に付けていけるものです。学校教育は、教室での学習と教室外との学習がバランスよく行われて実のあるものになっているのです。

また、講師を招いての学習も行われています。3年生は、消防団の方から自分たちの町を守ることにしてお話いただきました。4年生は社会科の学習で吉田新田を作る大変さを、講義ともっこ（土を運ぶ道具）体験を通してリアルに感じることができました。5・6年生は、車いすバスケットボール選手を招いて、実際に車いすを操作したり、巧みなボール操作を見せていただいたりすることでパラスポーツに触れることができました。6年生は「避難所運営ゲーム（HUG-ハグ）」に取り組みながら、いざというときに自分たちにできることについて、地域の方々と一緒に考えることができました。

ここ数年行うことができなかつた、いろいろな体験活動を通して、子どもたちの学びがより豊かになっていることを強く感じています。そのために、子どもたちのためにたくさんみなさんが力を貸してくださっています。

特に本校では日々の教育活動の中で、一本松共育倶楽部さんにはたくさんお世話になっています。大人が子供たちのために力を合わせる姿を見せることも、大事な教育だと思っています。子どもたちは自分たちが大切にされていると思うことで、自己肯定感を高め、より自信をもち、がんばることができるようになります。

子どもたちを育てるのは学校だけでも家庭だけでもありません。本校の教育活動のように、町全体で、そして社会全体で子どもたちを育てていくことが、理想の教育環境だと思います。

これからもみなさんからたくさんのお力をお借りしながら、子どもたちが安心して学び育つことができる学校を作っていきます。今後ともご協力をお願いします。